# 著書及び他誌発表

# **Books, Book Chapters and Journals**

(2017.4-2018.3)

# 他誌発表論文

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを記した。)

#### 「微生物]

鈴木 淳,都内の粘液胞子虫が係る有症事例と魚介類の 感染実態調査,日食微誌,34,84-88,2017.

平井昭彦,加藤 玲,村内このみ,小林真紀子,鈴木康規,樋口容子,上原さとみ,赤瀬 悟,小西典子,尾畑浩魅,門間千枝,貞升健志:過去30年間に東京都内で発生した黄色ブドウ球菌食中毒とその原因菌のコアグラーゼ型およびエンテロトキシン型の推移,日食微誌,34,26-31,2017.

下島優香子,井田美樹,西野由香里,福井理恵,黒田寿 美代,幾田泰久,平井昭彦,貞升健志:低温殺菌牛乳製 造乳処理業施設における細菌学的調査および分離菌株 の性状,日食微誌,34,207-213,2017.

小林真紀子,鈴木康規,加藤 玲,村内このみ,樋口容子,小西典子,小澤悠作,鈴木 淳,平井昭彦,貞升健志:キュウリに付着した腸管出血性大腸菌O157に対する熱湯殺菌の有効性,日食微誌. 35(1),41-44,2018.

宗村佳子,木本佳那,小田真悠子,永野美由紀,奥津雄太,森 功次,秋場哲哉,貞升健志:拭き取り検体からのノロウイルス遺伝子検出状況,食品衛生学雑誌,58,201-204,2017.

宗村佳子,木本佳那,小田真悠子,奥津雄太,加藤 玲,鈴木康規,齊木 大,平井昭彦,秋場哲哉,新開敬行,貞升健志:学校給食で提供された刻みのりによるノロウイルス食中毒,食品衛生学雑誌,58,260-267,2017.

鈴木 淳,村田理恵,日向綾子,新開敬行,貞升健志: 東京都におけるアニサキス症とその対策:病原微生物検 出情報,38,71-72,2017.

門間千枝,原田幸子,赤瀬 悟,尾畑浩魅,森 功次, 小西典子,小林惠子,平井昭彦,甲斐明美,貞升健志: カナマイシン含有培地使用では検出不可能なウェルシ ュ菌による集団下痢症事例,病原微生物検出情報,38, 130-131, 2017.

#### [食品]

田原正一, 山本純代, 山嶋裕季子, 宮川弘之, 植松洋子, 門間公夫: 食品中の甘味料分析における迅速な改良透析 法の開発(第2報)、食品衛生学雑誌、58(3), 124-131, 2017.

大須賀愛幸,植松洋子,山嶋裕季子,藤原卓士,田原正一,宮川弘之,門間公夫:高タンパク食品中の酸性タール色素分析:種々の食品における抽出・精製方法の検討,食品衛生学雑誌,58(3),160-165,2017.

塩澤 優,羽石奈穂子,鈴木公美,荻本真美,高梨麻由, 富岡直子,植松洋子,門間公夫:ステンレス製の食品用 容器および調理器具中の含有金属に関する実態調査,食 品衛生学雑誌,58(3),166-171,2017.

貞升友紀, 森川麻里, 坂牧成恵, 門間公夫, 小林千種: 食品中L-アスコルビン酸およびエリソルビン酸のHPLC 定量法およびLC-MS/MS確認法, 食品衛生学雑誌, 59(1), 11-17, 2018.

佐々木隆宏,田原正一,田中麻梨恵,水町敏子,山嶋裕季子,宮川弘之,植松洋子,門間公夫:透析を用いた食肉および魚肉製品中の亜硝酸根分析,食品衛生学雑誌,59(1),18-23,2018.

杉木幹雄,宮川弘之,田原正一,山本純代,坂牧成恵, 貞升友紀,植松洋子,門間公夫:酵素分解を用いた食品 中のα-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア定 量分析法,食品衛生学雑誌,59(1),30-35,2018.

小林麻紀, 酒井奈穂子, 上條恭子, 小池 裕, 根本 了, 新藤哲也: LC-MS/MSによる農産物中の塩酸ホルメタネート分析法, 食品衛生学雑誌, 58, 221-228, 2017.

### [生活環境]

小林憲弘, 小坂浩司, 浅見真理, 中川慎也, 木下輝昭, 高木総吉, 中島孝江, 古川浩司, 中村弘揮, 工藤清惣, 粕谷智浩, 土屋かおり, 寺中郁夫, 若月紀代子, 加登優樹, 小関栄一郎, 井上 智, 村上真一, 金田 智, 関 桂子, 北本靖子, 堀池秀樹, 米久保淳, 清水尚登, 高原玲華, 齊藤香織, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィータンデム質量分析による水道水中の臭素酸イオン分析条件の検討と妥当性評価, 水環境学会誌, 40(6), 223-233,

2017.

#### [生体影響]

猪又明子,小縣昭夫,多田幸惠,長澤明道,湯澤勝廣,安藤 弘,久保喜一,高橋 博,海鉾藤文,田中和良,中嶋順一,鈴木淳子,植村望美,守安貴子,渡辺大介,石原 恵,宇佐美 孝,亀井 学,河野安昭:危険ドラッグ吸入曝露試験の開発,YAKUGAKU ZASSHI,137(8):1005-1015,2017.

#### [環境衛生]

鈴木 薫, 江澤和江, 灘岡陽子, 今井孝成, 赤澤 晃, 岩田 力:東京都の保育施設等におけるアレルギー疾患 の状況~食物アレルギーを中心に~,日本小児アレルギ ー学会誌,Vol.31,No2,124-133,2017.

### [精度管理]

濱田篤郎, 森内理江, 佐々木由紀子, 中島崇行, 草野友子, 小林千種, 新藤哲也, 鈴木 淳, 高木 康: 東京都衛生検査所精度管理事業における寄生虫検査の実態調査, Clinical Parasitology, vol28 No.1,2017.

### [微生物]

Suzuki, Y., Kubota, H., Ono, H.K., Kobayashi, M., Murauchi, K., Kato, R., Hirai, A., Sadamasu, K.: Food poisoning outbreak in Tokyo, Japan caused by *Staphylococcus argenteus*. Int J Food Microbiol. 262: 31-37, 2017.

Sakanoue, H., Nakano, T., Sano, K., Yasugi, M., <u>Monma, C.</u>, Miyake, M.: Adherence of *Clostridium perfringens* spores to human intestinal epithelial Caco-2 cells. FEMS Microbiol Lett. 365(5), fny016,2018.

Somura, Y., Mizukoshi, F., Nagasawa, K., Kimoto, K., Oda, M., Shinkai, T., Murakami, K., Sadamasu, K., Katayama, K., Kimura, H.: A food poisoning outbreak due to food handler-associated contamination with the human norovirus GII.P16-GII.2 variant strain in Italian cuisine in Tokyo during the 2016/17 winterseason, Jpn. J. Infect. Dis., 71, 172–173, 2018.

Mori, K., Onuki, A., Kanou, F., Akiba, T., Hayashi, Y., Shirasawa, H., Sadamasu, K.: Feasibility of viral dust infection via air movement and dispersion of dried viral particles from the floor, Journal of Medical Virology, 89, 931-935, 2017.

Mori, K., Motomura, K., Somura, Y., Kimoto, K., Akiba, T., Sadamasu, K.: Comparison of genetic characteristics in the

evolution of Norovirus GII.4 and GII.17, Journal of Medical Viroloy, 89, 1480-1484, 2017.

Sakon, N., <u>Sadamasu, K.</u>, <u>Shinkai, T.</u>, Hamajima, Y., Yoshitomi, H., Matsushima, Y., Takada, R., Terasoma, F., Nakamura, A., Komano, J., Nagasawa, K., Shimizu, H., Katayama, K., Kimura, H.: Foodborne Outbreaks Caused by Human Norovirus GII.P17-GII.17-Contaminated Nori, Japan, 2017. Emerging Infectious Diseases . 24, 920-923. 2018.

Nishino, Y., Shimojima, Y., Suzuki, Y., Ida, M., Fukui, R., Kuroda, S., Hirai, A., Sadamasu, K.: Detection of the *mcr-1* gene in colistin resistant *Escherichia coli* from retail meat in Japan, Microbiol Immunol. 61, 554-57, 2017.

## [食品]

Yoshikawa, S., Nagano, C., Kanda, M., Hayashi, H., Matsushima, Y., Nakajima, T., Ohba, Y., Nagata M., Koike, H., Sekimura, K., Hashimoto, T., Takano, I., Shindo, T.: Simultaneous determination of multi-class veterinary drugs in chicken processed foods and muscle using solid-supported liquid extraction clean-up, J. Chromatography B, 1057, 15-23, 2017.

#### [医薬品]

Sakamoto, M., Suzuki, J., Saito, Y., Shimizu, S., Kobayashi K., Nagashima, M., Moriyasu, T., Fukaya, H., Saito, K.: Structural characterization of dimethyldithiodenafil and dimethylthiocarbodenafil, analogs of sildenafil, J. Pharm. Biomed. Anal., 148, 136-141, 2018.

# [生体影響]

Tanaka, T. Inomata, A.: Reproductive and neurobehavioral effects of ethiprole administered to mice in the diet. Birth Defects Research. 109, 1568-1585, 2017.

Tanaka,T. Suzuku,T. Inomata,A. : Reproductive and neurobehavioral effects of maternal exposure to ethiprole in  $F_1$ -generation mice. Birth Defects Research. 110, 259-275, 2018.

Nakagawa, Y., Suzuki, T., Inomata, A: Preventive effects of fructose and N-acetyl-L-cysteine against cytotoxicity induced by the psychoactive compounds N-methyl-5-(2-aminopropyl)benzofuran and 3,4-methylenedioxy-N-methamphetamine in isolated rat hepatocytes. J. Appl. Toxicol., 38, 284-291, 2018.

# 総説・解説

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを記した。)

#### [微生物]

貞升健志,宗村佳子: ノロウイルスに汚染された「刻みのり」による大規模食中毒事例,感染制御と予防衛生,37-41,2017.

鈴木 淳, 食品媒介寄生虫症における遺伝子検査の有用 性, 食衛誌, 58, J6-J10, 2018.

佐々木 祐, <u>服部 大</u>, 中島英雄, <u>宗村佳子</u>: ノロウイルス食中毒の原因究明〜現場における調査実態〜,食と健康,9,8-19,2017.

森 功次:実験データをもとにしたノロウイルス食中毒 の予防対策, 食と健康,10,8-15,2017.

### [生活環境]

斎藤育江:化学物質による室内空気汚染の近年の状況について,都薬雑誌,39(10),22-26,2017.

角田德子,大貫 文,大久保智子,斎藤育江,小西浩之,守安貴子:新築ビルにおける室内空気中有機酸類およびアルデヒド類の実態調査,月刊クリーンテクノロジー,2017年10月号,62-65,2017.

大貫 文,角田德子,菱木麻佑,斎藤育江、小西浩之,守安貴子:新築ビルにおける室内空気中2-エチル-1-ヘキサノールの実態調査-経時変化と低減化についての考察-,月刊クリーンテクノロジー,2017年10月号,58-61,2017.

## 「公衆衛生]

鹿島 剛,後藤千恵,石川貴敏:東京都の結核感染の現 状と対策,都薬雑誌,Vol30

石川貴敏,大井 洋:過去の事例から学ぶ健康危機管理 43 学校現場における麻疹の集団発生事例、公衆衛生情 報 2017年11月号 P.22~25

# 行政報告

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを記した。)

貞升健志,長島真美,北村有里恵,新開敬行,三宅啓文,水戸部森歌,横山敬子,近藤真規子,川畑拓也,松岡佐織,厚生労働科学研究(エイズ対策政策研究事業)「HIV検査の検勧奨に関する研究―地方衛生研究所が担うHIV検査の現状評価と課題の解決」,平成29年度分担研究報告書,198-204,2018.

平井昭彦,山城彩花,中野剛志,倉園貴至,佐藤孝志,平井晋一郎,古川一郎,政岡知佳,松本裕子,山上隆也,井川由樹子,森主博貴,小西典子,尾畑浩魅:厚生労働科学研究(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究ー関東ブロックの食品・ヒト由来腸内細菌の解析及び精度管理に関する研究ー」,平成29年度分担研究報告書,31-49,2018.

甲斐明美, 平井昭彦, 山城彩花, 山本和則, 桐谷礼子, 松井重憲, 小林美保, 中野剛志, 倉園貴至, 佐藤孝志, 平井晋一郎, 古川一郎, 政岡知佳, 松本裕子, 植松香星, 山上隆也, 関口真紀, 井川由樹子, 松橋平太, 山田俊博, 森主博貴, 小西典子, 尾畑浩魅: 厚生労働科学研究(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究ー関東ブロックにおける腸管出血性大腸菌の解析及び共有化システムの構築に関する研究ー」, 平成27~29年度総合研究報告書, 31-48, 2018.

平井昭彦,下島優香子,井田美樹,西野由香里,福井理恵,森田加奈,岡田三弘,大嶋秀克,内田雅之,小板英次郎:厚生労働科学研究(食品の安全確保推進研究事業)「国際的な動向を踏まえた乳及び乳製品の試験法の研究一乳及び乳製品試験法に関する改正試験法に向けた検討(微生物分野)ー」,平成29年度分担研究報告書,2018.

平井昭彦,下島優香子,井田美樹,西野由香里,福井理恵,森田加奈,岡田三弘,大嶋秀克,内田雅之,小板英次郎:厚生労働科学研究(食品の安全確保推進研究事業)「国際的な動向を踏まえた乳及び乳製品の試験法の研究一乳及び乳製品試験法に関する改正試験法に向けた検討(微生物分野)ー」,平成28-29年度分担研究報告書,2018.

門間千枝,鈴木 淳,貞升健志,山中龍宏:厚生労働科学研究(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「乳幼児突然死症候群(SIDS)を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究,乳児突然死とボツリヌス毒素―ボツリヌス検査に関する研究―」,平成29年度分担研究報告書,2018.

宗村佳子,永野美由紀,木本佳那,小田真悠子,奥津雄太,新開敬行,野田 衛:厚生労働科学研究(食の安全確保推進研究事業)「東京都内におけるノロウイルスを原因とした食中毒疑い事例等での遺伝子型解析(2016/17シーズン)」,平成29年度総括・分担研究報告書,171-173,2018.

大貫 文,斎藤育江,田原麻衣子,酒井信夫:室内空気中揮発性有機化合物及び準揮発性有機化合物試験法の開発-溶媒抽出法による揮発性有機化合物の添加回収試験-,厚生労働行政推進調査事業費補助金(化学物質リスク研究事業),「室内濃度指針値見直しスキーム・曝露情報の収集に資する室内空気中化学物質測定方法の開発」平成29年度分担研究報告書

草野友子,森内理江,西野由香里,佐々木由紀子,市川めぐみ,新藤哲也,大井 洋:平成29年度 第36回 東京都衛生検査所精度管理事業報告書,2018.